



一般質問

第4回定例会の一般質問は12月18日に行われ、3名の議員が村政全般にわたり質問しました。

質問項目は左記のとおりです。次ページよりやり取りの一部を抜粋して紹介します。詳細な内容については会議録の公表をお待ちください。

もろおか まさあき 諸岡 正明 議員 所属委員会：総務経済委員会

○高橋川の治水対策について

はやし しょうこ 林 昌子 議員 所属委員会：総務経済委員会

○観光振興について

○がん予防とケア対策について

まつむら ひろし 松村 広志 議員 所属委員会：厚生文教委員会

○「二地域居住」の促進について

○地域の安心・安全対策について

(認知症支援・母乳バンク・アライグマ対策)

○気候変動に対するSDGsの推進及び1.5度の約束について

高橋川の治水対策について



もろおか まさあき 諸岡 正明 議員

質問 令和6年9月定例会全員協議会において、高橋川流域の浸水防止軽減策報告書として、国道125号高橋より上流区間の流下能力が低い。

二つ目は高橋川の水位上昇に伴い、右支川（稲敷方面）からの流水が確保されない。有効な案は高橋川「調整池＋嵩上げ」、右支川「調整池＋嵩上げ」との説明を受けたが、今後の進め方を伺いたい。

答弁 (経済建設部長) 両市

村とも調整池は有効な減災対策であると受け止める。しかし、大きな事業用地を要し地域や多くの地権者の理解が必要、又、多額の事業費が想定され、高橋

川と右支川排水路の流下能力の向上に他の手法を研究すべきとの認識で共有している。

質問 両市村では別の方法も探

るとの事だが、具体的な内容は。

答弁 (経済建設部長) 県・

関係機関より助言を受けながら合流地点の流速を保つための土木工事対策、もう一つは右支川の流量を調節する整備も有効と考えている。この二つの事業がどの程度有効か、概算事業費等稲敷市と力を合わせて調査実施を考えている。

質問 令和7年度調査実施の予算を計上するか。

答弁 (経済建設部長) 多様な調査必要であり委託をしたい。

質問 治水対策は早い段階で整備の実現に向けて推進して欲しい。

答弁 (経済建設部長) 稲敷

市と力を合わせて整備の実現に努めたい。



観光振興について



はやし しょうご
林 昌子
議員

答弁 (総務部長)

② 今後は交流人口の増加・地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等、協力隊同士の情報交換の場の提供を検討する。

質問 観光振興を1つの課で専門に推進する構想を伺う。

答弁 (村長) 若い方はSNS閲覧で行動を起こす。部課で協議し進める。

がん予防とケア対策について

質問 乳がん治療に付随するケア商品の購入補助及びがん教育への取り組みを伺う。

答弁 (保健福祉部長) 「いばらきがん患者トータルサポート事業」周知の推進と補助の実施について検討する。

答弁 (教育部長) 専門家を招き自他の健康と命の大切さを考えられる児童生徒の育成に努める。

ウェルビーイング／ゆりかごから終の棲家まで 誰もが暮らしやすいむらづくり



まつむら ひろし
松村 広志
議員

の活用は。

答弁 (保健福祉部長) 「おかえりマーク」の活用とあわせ、「QRコード」の導入も検討していく。

質問 アライグマ被害への対策は。

答弁 (経済建設部長) 必要に応じて捕獲器の数を増やす。



「二地域居住」の促進について

質問 国が推進する都市と地方に生活拠点を持つ「二地域居住」は地域にどのようなメリットがあるか。また、企業との連携は。

答弁 (総務部長) 自治体では公共交通や買物・医療・福祉・介護・教育など、暮らしに必要なサービスが持続的に提供され、「地域生活圏の形成」に繋がる。今後、企業への積極的なサポートを含め連携を研究していく。

地域の安心・安全対策について

質問 認知症高齢者向けの「見守りシール」「QRコード」

気候変動に対する取り組みについて

質問 異常気象に対し、SDGsの推進や「1.5度の約束」の取り組みは。

答弁 (経済建設部長) 村で掲げた「地球温暖化対策計画」のもと、住民や企業へ推進をしていく。

※この他「リトルベビーハンドブック」の活用、「母乳バンク」の推進を質問した。